

令和7年度 第1学期始業式 式辞

いよいよ新年度がスタートします。教職員も含めて、ここにいる全員が緊張していると思いますが、それと同時に、ワクワクもしているはずです。名門・松山北高校で、どんな一年が始まるのか。それは、あなた次第です。

まず一つ目。昨年に引き続き、皆で日本一を目指しましょう。これはオーバーな言い方ではなく、皆さんなら可能です。昨年度の第103回全国サッカー選手権大会で、青森山田高校を始めとする優勝候補が敗れていく中、北高はベスト16まで勝ち進みました。多分、彼らは組合せが決まったとき、1回戦を突破しようという意識ではなかったと思います。もっと先を見ていたはずですが、勉強も一緒です。自分の中での目標を、貪欲に、高いところに置いてください。個々に目標は違うかもしれませんが、自分の得意分野で日本一を目指す。当然そのために何をやるかが大切ですが、そういう意識を持ち続けてほしいです。

この夏、東京六大学の両雄、慶応大学と早稲田大学の硬式野球試合が、坊っちゃんスタジアムで行われます。そのときの応援を、北高吹奏楽部に手伝ってほしいというオファーが来ました。早稲田は済美高校、慶応は松山北高校、なんと名誉なことでしょう。日本の大学野球では、人気 No.1 のカードです。そこからのオファーですよ。どうよ！勉強、スポーツ、習い事、道具の手入れ、グラウンド整備、楽器の手入れ、マネージャー業、教室の環境整備や掃除、ごみ拾い、トイレ掃除、ボランティアなど。自分が決めた分野で日本一を目指してください。それは必ず誰かが見てくれていて、そこから、道が開けてきます。

二つ目。本を読みましょう。私は京都の駿台予備校で予備校生活を送りましたが、その時やっと読書の面白さに気づき、多くの小説を読みました。途中から新書も読むようになりましたが、その秋国語の偏差値がぐんと上がりました。一見遠回りなように感じますが、実は大切なことでした。こつは、自分の好きな本、興味のある本から読むことです。世界が変わるよ。あの、長い共通テストのリード文がずっと理解できるようになるよ。本を読みましょうという内容も、実は昨年と同じことを言っています。

そして三つ目、オフを大切に。すべてを犠牲にして仕事を頑張るという時代ではありません。自分の大切な人(例えば家族)や大切な事(例えば趣味)があるから、勉強や部活動や習い事や仕事が頑張れるのです。ふーっとリラックスする時間がないと、人は疲れ果ててしまいます。その時間を作る工夫を、教職員も含めてここにいる全員でしてほしいです。

最後です。スマホを有効利用してください。人を攻撃したり、誹謗中傷するような人にならないでください。北高生には、人を守る、心優しい人になってほしいと切に願います。人を攻撃す

ることに、自分の大切な時間を使うような人にはならないで。年度の初めですので、再度お願いしておきます。

それでは、心躍る学び合い、一朵の雲を目指して、進んでいきましょう!以上、式辞といたします。